

砕石の地盤改良

「エコジオ」

地盤改良工事など手掛けるウエノテクニカ（松江市玉湯町玉造、上野親弘社長）は、砕石だけを用いる地盤改良「エコジオ」工法を県内で初めて導入した。主に住宅用地の地盤改良工法として普及拡大を図る。

機（8t程度）を使用できるため狭小地での施工が可能で工期短縮と低コスト化が見込めるほか、振動・騒音が小さく住宅密集地での施工も可能となる。

また、県内で産出される自然石のみを使用する“地産地消”の工法で、廃棄物を出さない循環型のゼロエミッション技術。杭やセメントなどの人工物を地中に残さないことから、土地の資産価値を下げないというメ

エコジオ工法は、

三重大学と尾鍋組（三重県松阪市）の共同研究により開発されたもので、国交

省の新技術情報提供システムNETIS

に11年11月に登録（CB1110013-A）。ウエノテクニカは県内で唯一、同工法の会員となっている。

従来からの砕石杭との違いは、新開発

される地下水位の高い地盤でも、掘削する穴の壁面崩壊を確実に防止。小型改良

したEGケーシング

（特許取得）を地盤改良機に装着することで、液状化が懸念

などの人工物を地中に残さないことか

ら、土地の資産価値を下げないというメ

ウエノテクニカ

県内住宅用地で普及拡大へ 初導入

される地下水位の高

い地盤でも、掘削する穴の壁面崩壊を確実に防止。小型改良

「昨年11月から松江

市内の民間住宅地な

はこれまで、地盤改

良工事として、公共

棟、16年からは年間160棟程度を目標に掲げる。ウエノテクニカで

はこれまで、地盤改

良工事として、公共

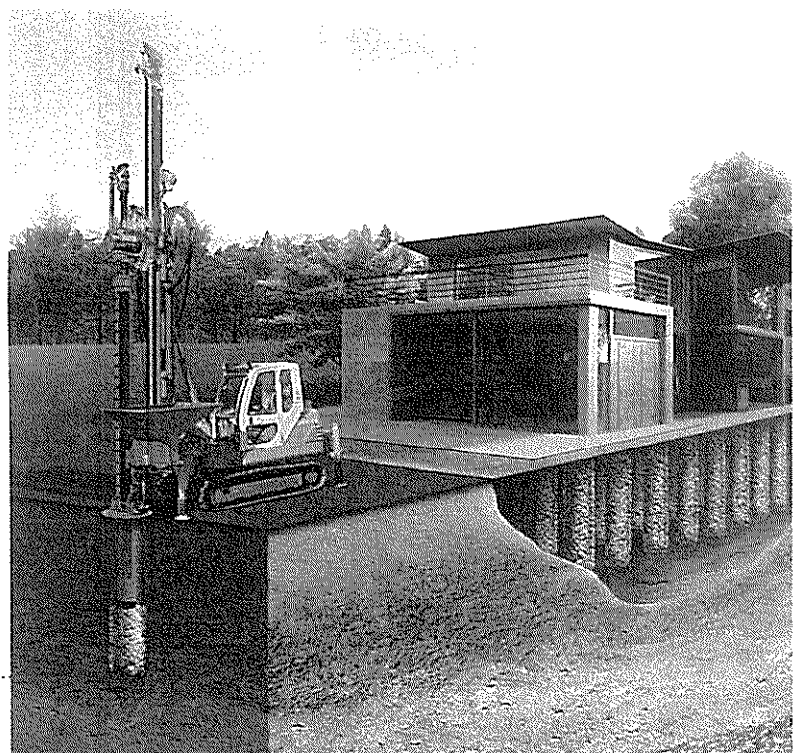
施設で大塚地区幹線排水路（安来市）、

秋鹿農集排処理施設（松江市）など30件以上、民間住宅500棟以上の実績を挙げている。 ※問い合わせは、ウエノテクニカ 電話

0852（62）8

083・FAX（6

2）8086



エコジオ工法の施工状況のイメージ図